

輸入8割たよっている薬用作物（当帰、柴胡）の栽培

20年前に薬害で父を亡くしたことがきっかけでもありますが、元々温泉好きなこともあり、中国、九州地方、兵庫県の丹波、熊本県の玉名など薬草園などを見て回りました。その時に、現在では百人邑の栽培指導をさせていただいている佐賀県の薬草研究所の方とご縁があり、当帰、柴胡を知りました。

そこで、この地で、薬草を育てて、障害者の方も含め、自然の力で癒す薬草で、元気にできないかと考え取り組みました。

■STEP① / 2015年

薬用作物の当帰、柴胡を20苗の植付から始まり、完全無農薬栽培をするために、草むしり、害虫手摘み等を農業体験の方にさせていただき、約160坪の栽培まで広げ、他の耕作放棄地を少しずつ整備してきました。



また、農業業務には必然である草刈り業務を安全に行うために、カーツ株式会社（草刈りメーカー）様の安全講習を受け、田中電機工業株式会社OBのボランティアの方々と里山整備をいたしました。その他にも呉緑化センター様の支援により、土壌改良材としてパワーストーンで知られる黒曜石を、鹿児島県の産出場より、約30トン（3000万）を、薬草農場に埋設していただきました。



働くとは、傍（はた）が楽になることに、喜びを共にする



田中電機工業株式会社様 OB の方々による草刈りボランティア

■STEP② / 2017~2019年

広島市の中山間地域お宝発掘事業採択（3年間）で、試験農場として整備し、薬用作物の当帰、柴胡の栽培面積を600坪にし、第1弾として天然乾燥だけにこだわった薬草1種だけにこだわった浴湯材—当帰湯1年がかりで商品化し、ひろしま夢ぷらざ等で対面販売及びネットテスト販売し、お客様の声お聞きしながら、日々改善してまいりました。

